

令和7年度第2回東温市総合教育会議 会議録

開会の日時及び場所 令和8年3月23日(月)午前 9時 30分
東温市庁舎4階 403会議室

構成員	市長	加藤 章
	教育長	八木 良
	教育委員	大野 誠司
	教育委員	大西 正志
	教育委員	石丸 知美
	教育委員	近藤 結香

関係課	統括部長	森 賢治
	保育幼稚園課長	近藤 秀之
	生涯学習課長	森 誠司
	給食センター長	高須 義春

事務局	事務局長	高須賀 章夫
	学校教育課長	松本 則一
	学校教育課長補佐	大北 さおり
	学校教育指導主事	加地 直子

傍聴人 なし

1 開会宣言 (9:30)

高須賀局長 (開会を宣す。)

2 市長あいさつ (9:30)

加藤市長 皆様おはようございます。市長の加藤です。規定によりまして私の方で議事を進めさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。
今のところ傍聴はゼロでございますけれども、途中でご要望があった時には認めることでよろしゅうございますか。

委員全員 (異議ない旨伝える)

加藤市長 それでは開会にあたりまして一言挨拶を申し上げます。

令和7年度の第2回の東温市総合教育会議ですが、皆様方ご多忙の中

ご出席をいただき誠にありがとうございます。今年度2回目となります総合教育会議につきましては、教育委員会と市長部局が教育政策についての方向性を共有した上で相互に連携し、効果的に推進するために開催しております。この会議を通じ、皆様とより深く意見交換をしながら、一層教育行政の推進に当たりたいと思いますので、引き続きよろしくお願いを申し上げます。

本日の報告議題ですが、「東温市教育大綱」の改正について、法改正に伴う策定が義務づけられました東温市立小中学校の教育職員に関する業務管理・健康確保措置の実施計画についてです。教育職員の負担軽減と健康確保は、教育の質を支える最も重要な課題と位置付けております。計画の実効性を高めるために、教育委員会と市が一体となり、学校現場の実態を十分に把握した上で、子どもたちに最良の学びを提供できるように、持続可能な働き方の実現に向けて取り組んで参りたいと思っております。

皆様と協議し、共通認識のもとで東温市の教育を進めて参りたいと考えておりますので、ぜひご忌憚のないご意見をいただければと思っております。

そして私から1点報告申し上げますが、本年度9月末から、小中学校における子どもミーティングを実施して参りました。それぞれに授業時間を当てていただき、もっと住みやすい東温市にするためにをテーマに、延べ400人近くから80点を超える質問、ご意見をいただきました。いずれもこれからの課題や子どもならではの意見提言もあり、私ども東温市役所と市内の子どもの距離が一層縮まったというふうにも受けとめております。

結びにあたりまして、本日の会議が実りあるものとなることを願いまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうかよろしくお願い申し上げます。

3 議題

・東温市教育大綱について

(1) 報告

大北補佐 (当日資料に基づき、説明する。)

加藤市長 事務局から報告がありました、市の最上位計画である総合計画のうち教育に関連する部分を新たな教育大綱として位置づけることについて、委員の皆様から前回承認いただいておりますが、この件に関して委員の皆様

様からご意見、ご感想等をいただければと思います。

八木教育長 本市の総合計画は、市政全体の最上位計画として教育の理念や将来像、重点施策を包括的に示しています。そしてこれらは教育大綱に求められる内容を十分に満たしておりますので、総合計画の教育部分を大綱として位置づけることは合理的だと思います。メリットとして、行政運営の効率化にも繋がりますし、市長部局との連携が今以上に強まり、教育施策を市全体の方針と一体的に進めることができると思います。また、学校現場にとりましても、総合計画の中での教育目標が明確になることで、重点化が図りやすくなると思っています。

加藤市長 教育長からの意見をいただきました。続けて各委員の皆様からご意見をいただきたいと思っています。よろしくお願いします。

大野委員 でき上がったものを見て、この冊子には年代別の人口数が書いてあったり、様々な施策が書かれてあって、東温市全体の中で教育はどのような役割ができるのかということが非常に明確になっていて、総合計画の中に入れることにしたことは非常に意義があったと改めて感じました。他の計画と比較検討することができ、目的、目標設定や施策について、よりよい内容に教育の面でもすることができると感じるヒントがたくさんあると感じます。例えば、まちづくりの目標値が設定されていて、学校教育の充実に満足している市民の割合が、令和6年度は38.4%で令和12年度は63.0%を目指している。そのために、それを具現化する施策が1から7まで掲載されており、確かな学力を育てる教育の推進にも、その1つの施策で、アンケートで授業がよくわかると答えた児童の割合が現状値35.0%を令和12年には60.0%まで高めるという目標が設定されていて、非常に見通しのきくというか、これをもとに学校が、或いは教育行政が考える、地域が考える参考になる目標設定ができていると思います。具現化を図るためには、まず各学校ではさらなる目標の分析を行って、その内容について学校経営の中に位置付けたり、学校評価の項目の中に位置付けたりして、重点的に進めていくことができると考えます。教育委員会で行っている年1回の学校評価の会でも、特にここで目標設定した項目については注視していくことができるので、評価の面、そして学校関連の面でも、このことが有効ではないかなと思いました。

加藤市長 ありがとうございます。続いて大西委員よろしくお願いします。

大西委員 私もこの東温市総合計画の中に教育大綱を入れることは非常に実効性が高まると思います。いい方向だと思います。その中で私は個別の案件として、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進について、学校教育

においてこれまで日本では文武両道を掲げ、学力の向上と部活動の充実を教育の両輪として進めて参りました。部活動は体力向上のみならず、人間形成や社会性を養う場として大きな役割を果たしてきたと思っております。私は部活動が子どもたちの将来にわたる人間関係の礎となってきたことを重く受け取っており、現在進められております部活動の地域移行においても、この教育的価値を損なうことのないようにしていくことが大切と思っております。特に予算面では、一自治体の努力だけでは限界があります。ぜひ全国の都道府県及び市町村とも連携をして、国に対して必要な予算措置の獲得を強く働きかけていただきたいと思いますと考えております。新しい事業する以上は必ず予算がついてくるのが事業だと思っておりますが、この部活動の地域移行については事業予算が私の知る限りでは耳に入っていないのが現状で、最後の意見で申し訳ないですが、こういう機会ですので意見を述べさせていただきました。

加藤市長
石丸委員

ありがとうございました。続いて石丸委員お願いします。

総合計画を拝見しまして、子育て、教育に関する施策が一番手に来ていることに大変ありがたく思いました。他市の総合計画をホームページで知るぐらいですけれども見てみますと、防災や地域産業などのインフラのことを一番手に持ってきてる行政が多いようでしたので、一番手に持ってきてるということで、市長のお考えですとか、教育を大事にする市の方針がすごくあらわれているなと感じました。移住を考えるような子育て世代にとっては、教育問題、教育の充実というのが、住まいを決める上での大きな要素かなと思いますので、これを見て移住者が増えて活性化することを期待したいと感じました。現状子どもたちや教育現場が抱える問題はたくさんあるのですが、それが現状と課題のところではほぼ網羅されていると感じました。たくさんあるのですが、うまく整理されていて、それに対しての課題、目標値、施策が表現され、大変わかりやすいと思っております。これから 10 年間かけて一つ一つ課題を進めていって、先生方も生徒も、保護者も地域の皆さんも、みんなが実感できるような方向、良さが実感できるような方向に進んでいったらいいなと感じております。

加藤市長
近藤委員

ありがとうございました。続いて近藤委員よろしくお願いいいたします。

今回教育大綱が総合計画と一体化されたことで、本市が目指すまちづくりの中に教育がどのように位置付けられているかというのが明確になったと思います。第二次総合計画の後期の基本計画から SDG 's の視点からの具体策が入っているということで、それが今回資料編にあるよ

うに対応表が前回よりさらに分類整理されていて、市の施策として大変わかりやすいと感じました。学校では、小学校からSDG'sの教育を行っており、子どもたち自身も17の目標についてはよく知っているのも、そのような施策の方向性が整理されていて大変ありがたいと思いました。最後に、令和8年度の東温市教育基本方針との関連についてですが、令和7年度までの基本方針は事業名が箇条書きで記載されているだけだったのですが、今回事務局からいただいている基本方針の案では、事業の説明が記載されており、これが学校の方に伝わると大変わかりやすいと思いました。市の教育基本方針や重点施策をもとに学校で教育計画を作成し具体的にやっていくと思うので、今回の総合計画をうまく落とし込んだ市の教育基本方針を作成していただいたら、学校にとっても大変ありがたいことになると思います。

加藤市長 ありがとうございます。委員の皆様からご意見いただきましたが、それぞれ出されたご意見について何か補足やご質問などございませんか。特にご意見ご質問等なければ、委員の皆様にご意見をいただいた分について、本市の第三次東温市総合計画が公表され次第、教育に関連する部分を教育大綱と位置付けたいと思いますので、よろしくお願ひします。

・東温市立小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
(1) 報告

大北補佐 (当日資料に基づき、説明する。)

加藤市長 事務局から報告がありましたとおり、全国的な教員不足や学校が対応する課題の多様化・複雑化など、教育職員を取り巻く環境は依然厳しい状況にあり、子どもに向き合う時間の確保が困難であるとも認識しているところです。この件に関しまして、委員の皆様から順番にご意見、ご感想をいただきたいと思ひます。

八木教育長 全国的な教員不足や教育課題の複雑化により、教職員が子どもと向き合う時間を十分に確保できない状況が全国的に続いており、本市でも例外ではない状況が見られます。この状況を改善し、教職員が健康で意欲を持って働ける環境を整えるため、本市では市長が掲げております、地域の子どもは地域で育てるという理念により、学校だけでは限界がありますので地域が担えることは地域へという方向性を定め、学校が抱え込んでいた業務を地域に開放することで教員の働き方改革と教育の質の向上を同時に実現することを目指してあります。今回策定しました業務量管理・健康確保措置実施計画は、働き方改革を本気で進める意思表示であ

と思っています。そして教員の健康と、なにより教育の質を守るための必須のステップだと思います。業務の見直しや外部人材の活用、時間外勤務の管理、現場の声を踏まえた改善を柱に、働き方改革を着実に進めて参りたいと思っています。東温市の子どもたちによりよい教育を届けるため、オール東温で教育の質が上がるよう取り組んでいきたいと考えております。

加藤市長
大野委員

続きまして大野委員よりお願いいたします。

本実施計画はとても意義があるもので、1ヶ月45時間以内、100%を目標とし、年間360時間以下とする。このことが実現できるようにしていかなければならない大切な時だと思います。いろいろな目標設定もありますし、ストレスチェックも非常に有効だと思います。これまで良きものとしてきたものを含めて大きく仕事内容を減らし、児童生徒の授業に教職員の仕事が集中できるようにしないと実現しないのではないかと思います。ここに書かれてあることはすべて教師の仕事が授業に集中できる、子どもに集中できるようにするための方策とされたと思います。実施する業務管理、健康確保、その内容、具体化などが示されていますが、その内容が実現するといいいのですが、それを実現するためには、例えば登下校の見守りを地域の人をお願いすること1つにとっても、学校運営協議会での話し合いが大切ではないかと思います。事務職員が調整して調査や評価等への回答や広報資料やウェブサイトの策定をすることになっていますが、果たして事務職員が今のような体制でできるのかとか、休み時間の安全配慮や清掃を地域住民に本当に頼めるのかとか、本当にできるのかという内容がたくさんあると思います。具体的な方策として、教員の1日を振り返って見たら、例えば、朝礼なし、伝達事項はミライム、これできています。いろいろなチラシは学校では配らない、計画帳も児童のタブレットに内容を送る、小学校では単元別テストを実施しない、タブレットで小テストを実施して自動集計して子どもたちに返す、通信簿をなくす、家庭訪問をなくすとか、そのように、この計画をもとに、各学校で、或いは地域の人と一緒にさらなる具体化が進まないと、立てただけの計画になる恐れがあるので、学校には取り組んでいくよう教育委員会には進めて欲しいと思います。

加藤市長
大西委員

ありがとうございました。

この計画に対しての意見を2点述べさせていただきたいと思います。1点目、教職員の当事者意識を高めるための意識改革が必要だと思います。本計画を確実に実行していくためには、教職員一人一人がその意義

に納得することが大事だと思います。教職員が働きがいを実感し、本来の職務である授業づくりに注力することで、子どもたちの学びを充実させるためのものであるという目的を全教育職員が共有する必要があると思います。そのためには校長先生から職員会議などの場を通じて、これは先生方自身の幸せと、子どもたちの笑顔に直結する計画であるというメッセージを継続的に発信していただいて、まず意識改革をしていただくことが大事だと思います。2点目は長時間労働是正についてです。本市では時間外在校時間は月80%を超える教職員が17名存在します。まずはこの17名の教育職員の横にベテランの教職員を配置して仕事のやり方を観察してもらうとともに、校務支援システムから得るデータも分析し、どの業務が負担になっているかを可視化して、客観的データに基づいてその業務を削減し、何をやめるといった、踏み込んだ判断を行うことが平均30時間程度の削減達成数値へ繋がるのではないかと思います。

加藤市長
石丸委員

ありがとうございます。

今回の計画で、目標値を在校等時間月45時間100%の目標を設定しています。現状のデータからすると目標達成は厳しい道のりが予想されるのですが、やはり先生方の命と健康を守るためですので、突き進むしかないと考えております。現場の先生方にしてみれば、次々と新たな対応を求められる一方で、時間は厳しく管理される。頼める他の先生方もいらっしゃるということ、八方塞がりの苦しい印象を持っているのではないかと思います。意義をしっかりと先生方に理解していただき、ご自身の働き方を見直し、効率化を考えていただけたらと思います。計画の中に、組織マネジメント、これで効率化するべきとありますが、そうすると校長先生のご負担がまた多くなるかと思えます。特に規模が大きな学校では先生の数も多く、把握するだけでも大変かと思えます。また5ページ以降に業務の見直し案が出ておまして、すぐできるかなというような疑問点を持つ項目がありますので、これについては教育委員会事務局の方で環境整備にも手をつけていただいて、場合によっては、例えば人を募集する。地域の方に協力を募集するときなどは、市として発信するとか、そういうこともお願いしたいと思えます。計画の目標の達成にはいばらの道が予想されますが、校長先生の心理的サポートや環境整備ということで、教育委員会の事務局にもよろしくお願ひしたいと思えます。

加藤市長

ありがとうございました。

近藤委員　新しいものを作成するという事は時間と労力が要ることだったと思います、今回この計画の作成に充てられた事務局の皆様のご苦勞に大変感謝申し上げます。この計画が4月から実施されていくということですが、数値目標の達成のみに重きが置かれることがないように、現場の先生方が、教育委員会から管理されていると感ずることができるだけないように、自主的なものになるようにしていただけたらと思います。そのためには、学校現場に示す際に、先生方や子どもたちのための計画なんだという作成の趣旨について十分説明していただいたら、またそれを校長先生が職員会等で先生方にも説明していただけると感ずいます。働き方改革を本気で取り組んでいく、進めていく意思表示だということ、その言葉を聞いて感ずしたので、機会があるときにそういう話をしていただけたら先生にも伝わるのではないかと感ずいました。この教育の計画の実施はこれからが大変だと思ずいます。実際事務局の方で関係機関に周知し、お願いをし、人を集め、やっていくことが本当に大変だと思ずのですが、これをやっていくことで教員のやりがいや意欲が向上して、子どもたちの教育に還元されていけたらいいなと思ずています。よろしくお願ずします。

加藤市長　全ての委員の皆様からご意見いただきました。何かございましたらお願ずします。

八木教育長　私自身がこの働き方改革で考ずているのは、時間も大事で、時間は長くならないように取り組むとともに、先生たちの満足感といいですか、教育に携わって一生懸命やっている、その気持ちをそがないような取り組みにしていく必要があるかと思ずています。先生方には色々な背景があり、子どもをかかえて子育て真っ最中の先生もおられれば、独身で教育に一生懸命取り組んでいる先生方もいます。そういう一人一人の先生方の背景に学校長がきちんと寄り添いながら、やりがいのある教育に先生方が取り組めるよう、もちろん時間管理、健康管理をしながら両立させていくことが大事だと考ずています。

加藤市長　他にございませぬか。特によろしいでしょうか。委員の方から事務局への意見もありましたが、事務局何か意見ありましたらお願ずしたいと思ずいます。

松本課長　この計画は国が示したものを参考にさせていただき、教育委員の方々から様々なご意見等いただきながら策定した計画となっております。教員の働き方改革を進めていくこと、その教育の質を向上させるためにも、この計画の目的を学校の先生方が共有することによって、教育の充実に

つなげていけるようしっかり取り組みたいと考えております。

加藤市長 ご苦労さまでした。他にご意見ございますか。それではすべての委員の皆さん、また事務局からも、ご意見、回答もいただいたところです。東温市としましても、教育委員会とのこれからの連携に当たりまして、自治体全体として教育職員の環境整備にも取り組んで参りたいと思いますので、よろしく申し上げます。それでは以上で「東温市教育大綱及び東温市立小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」の報告を終わります。

(2) その他

加藤市長 何かございますか。

高須賀局長 特にありません。

加藤市長 委員の皆さん何かございますか。特にないようですので議事については終了したいと思います。

4 閉会

加藤市長 委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただき、また学校現場へのご意見等もあったと思いますが、本日も有意義な会議ができましたことに感謝を申し上げます。引き続き、これからも教育委員会と市長部局との連携は、さらに深め、事業を推進して参りたいと考えておりますので、今後ともよろしく申し上げます。それでは進行を事務局にお返しします。

高須賀局長 (閉会を宣す。)

(午前 10 時 15 分閉会)